

富士見町故郷Uターン支援奨学生 募集について

町では、子育て世帯の経済的負担を軽減するため「故郷Uターン支援奨学生」を募集します。

条件等は次のとおりです。

- ① 諏訪信用金庫の「すわしん教育ローン みらい応援隊」の借入をされた方のうち、大学等に支払う初年度納付金にかかわる借入分の利子を補助します。
(1.0%以内で利子を補助。)
- ② 借入金 1件1,000万円を限度。
- ③ 対象者は、大学等に進学するお子さんを持つ町に住所を有する保護者の方。
- ④ 借受者のお子さんが大学等卒業後、富士見町に居住した場合はさらに1.0%以内で上乗せの利子補助を借受者に行います。
- ⑤ 返済は（在学中最大4年間の返済猶予期間がある）最長16年以内とします。

詳しくは下記へお問い合わせください。

問 子ども課 総務学校教育係 ☎62-9235
諏訪信用金庫 富士見東支店 ☎62-7500



教育委員会だより

富士見町

第158号

「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

ゲーム(ネット)依存症の危険

ゲーム(ネット)依存症が青少年の間で広がっています。

ゲーム依存症になると、膨大な時間をゲームやインターネットなどに費やすようになり、日常生活に様々な問題を引き起こすことになります。

重大な問題につながりやすいのが、就寝時間が遅くなることによる睡眠不足の問題です。

自分でゲーム時間の調節ができなくなるため、夜中までゲームをしてしまうようになります。その結果、睡眠不足が続いて短気になったり、学校の授業に集中することができなくなったりします。

また、睡眠不足は精神状態にも大きな影響を与えるため、精神が不安定になりやすくなり、不眠症などの睡眠障害を引き起こす場合もあります。

他にも、家族関係の悪化、孤立、運動不足、攻撃性が高まる、体の不調などの問題も生じてきます。

子どもをゲーム(ネット)依存症にさせないためには、早期から保護者の注意が必要です。「ゲーム機はリビングに置く」「ゲームの時間を必ず守る」などのルールを決めて、重症化する前に予防しましょう。



平成31年2月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

2月
定例教育委員会
2月13日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎!

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

2月17日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日
厳寒の季節を
家族とともに元
気に乗り切りま
しょう。



12月定例

教育委員会報告

12月12日に開催された12月定例教育委員会
で協議した主な内容をお知らせ
します。

議決事項

- ・ 区域外通学許可申請について
↓ 全員一致で可決

報告事項

- 〈教育長より〉
 - ・ 12月議会一般質問答弁
 - ・ 高校再編について
- 〈子ども課より〉
 - ・ 南諏校長会報告(来年度の登校日数等について、学力向上委員会、夏季休業中のプール開放について)
 - ・ 園長会報告、事業進捗状況
 - 〈生涯学習課より〉
 - ・ 諸事業について(指定文化財パトロール、NZ交流事業について)

検討事項

- ・ 全国学力学習状況調査分析について(非公開)
 - ・ 夏休み延長について
 - ・ 来年度の学級編制について
- *詳しくはホームページをご覧ください。

はじめの一歩 Part ③

先日、町内のある小学校にお邪魔し、1年生の体育の授業の様子を見学させていただきました。縄跳びの授業でしたが、体育館いっぱいに広がってそれぞれの子が自分の課題に挑戦していました。子どもたちの様子を見てみると、ある女の子が「交差跳び」に挑戦をしていました。私と目が合って「交差跳び」ができるのを見て欲しかったのでしょうか。「見てて。交差跳びができるんだよ。」と言いながら交差跳びを披露してくれました。思わず「すごい。」と言うと嬉しそうにまた3回ほど交差跳びを見せてくれました。でも、成功するのは1回だけ。連続ではまだできません。そこで「1回目できて手が止まってしまうのでもう一回、思い切って手を回してごらん。」と声をかけましたが、他の子が私を呼んだのでその場を離れました。その後、またその女の子が「先生、見て。続けてできるようになったよ。」と寄ってきてくれました。「本当？」と言いながら「交差跳び」を再び見せてもらうと見事、連続して3回跳べるようになっていました。「すごい、すごい。できるじゃん。」と言うと満面の笑みでした。授業の終わりころには「続けて4回跳べたんだよ。」と教えてくれました。



短時間に連続した交差跳びができるようになった姿を見て、女の子の言った「見てて。」の言葉の大切さを実感しました。子どもたちは『できる』『できた』という喜びを誰かに認めてほしいものです。『できた』ことが他の人に認められて得る満足感、充実感の1つ1つが次への力につながっていくと思います。

この授業の1週間ほど後、今度は所用である保育園を訪問しました。許可を得て保護者を待っているとリズム室で青組さんの子どもたちが縄跳びをしているのが目に入りました。窓の外から覗いていると保育士さんが一人一人順番に前跳びの回数を数えてあげていました。連続してできる子や数回でひっかかってしまう子などそれぞれでしたが、どの子も先生に見てもらった（認めてもらった）後、嬉しそうに他の場所でまた練習をしていました。そんな姿を見て前述した1年生の女の子の姿を思い出しました。

まだ前跳びが上手にできなくて、何度も挑戦してもなかなか跳べない男の子がいたのですが、隣にいた子も見本を見せてくれたり縄の回し方を教えてあげたりしていました。この子は友だちと20分ほどずっと前跳びに挑戦していました。

保育園で声をかけてもらいながら挑戦し、そして小学校で続けて縄跳びの学習をするというつながりがあった子どもたちは縄跳びが上手になっていくことを実感しました。きっとこの男の子も近いうちに前跳びが何回もできるようになり、さらに違う技もできていくのでしょうか。



どのお子さんでも日々の中でうまくできたり、失敗したりしています。その時、どのような声掛けをするかで大きく違ってきます。『できた』時に褒め、失敗したときに励ます中で子どもたちは自分に喜びや自信を持ち、「もっと〇〇したい」「〇〇できる人になりたい」など将来の自分の姿を思い浮かべ、頑張っていけるとと思います。寒い日が続きますが、お家でもお子さんと縄跳びに挑戦してみたいかでしょうか。
(家庭教育相談員 伊藤十三雄)

給食食材放射能測定結果(12月分)

測定日	測定食材数	測定結果
12月 5日	2	町基準の10ベクレルを超えた食材はありませんでした。
12月19日	4	

※保育園、小・中学校で使用を予定する給食食材の放射能が10ベクレルを超えた場合は、給食に使用しません。詳しい測定結果は、町のホームページをご覧ください。

ソリやスキー、スケートなどこの時期ならではのウィンタースポーツを楽しみましょう。
編集後記
受験生はいよいよラストスパート。体調管理に気を付けて頑張ってください！